



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月10日

上場会社名 DOWAホールディングス株式会社 上場取引所 東・名・札・福  
 コード番号 5714 URL <https://www.dowa.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関口 明  
 問合せ先責任者 (役職名) 企画・広報部門部長 (氏名) 細野 浩之 (TEL) 03-6847-1106  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	252,479	9.4	12,619	13.9	9,328	△25.1	1,616	△79.6
2020年3月期第2四半期	230,782	4.0	11,078	18.3	12,453	△3.1	7,924	△10.9

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 286百万円(△97.0%) 2020年3月期第2四半期 9,525百万円(112.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	27.31	—
2020年3月期第2四半期	133.89	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	523,664	252,919	46.0
2020年3月期	512,495	258,241	48.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 241,044百万円 2020年3月期 248,047百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	—	—	90.00	90.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	90.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

※当期の配当予想の詳細につきましては、本日公表の「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	563,600	16.2	31,300	20.6	29,000	0.0	12,000	△31.0
								202.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※当期の連結業績予想の詳細につきましては、本日公表の「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	61,989,206株	2020年3月期	61,989,206株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	2,804,982株	2020年3月期	2,804,746株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	59,184,362株	2020年3月期2Q	59,184,758株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	13
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	13
(追加情報)	13
(セグメント情報)	14
3. 補足情報	15
(1) 生産量比較	15
(2) 販売単価比較	15
(3) 海外地金相場及び為替相場比較	15
(4) (連結) 設備投資額及び減価償却費	15
(5) (連結) 従業員数	15

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループの事業の状況につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けていた自動車関連製品及びサービスの販売は回復に転じました。情報通信関連製品の販売は第5世代移動通信システム(5G)向けが引き続き堅調であり、また、新エネルギー関連製品の販売は増加しました。環境・リサイクル関連サービスの受注は廃棄物、リサイクル原料ともに概ね前年同期並みでした。相場環境につきましては、為替は106円/米ドル前後で推移しました。金属価格は金、銀が継続して上昇し、亜鉛、銅は上昇に転じました。

このような状況の中、当社グループは「中期計画2020」の基本方針である「成長市場における事業拡大」、「既存ビジネスでの競争力強化」に基づき、企業価値向上への施策を着実に進めました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比9.4%増の252,479百万円、営業利益は同13.9%増の12,619百万円、経常利益は、持分法適用関連会社の利益が減少したこと等により、同25.1%減の9,328百万円となりました。また、法人税等が同32.8%増の5,306百万円となったこと等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は同79.6%減の1,616百万円となりました。

なお、新型コロナウイルス感染症による当第2四半期連結累計期間における当社グループの経営成績への主な影響は次のとおりです。自動車関連製品及びサービスの売上比率が高い熱処理部門と金属加工部門では、自動車生産台数の世界的な減少によって第1四半期連結会計期間において販売が大きく減少しましたが、当第2四半期連結会計期間において回復に転じました。また、持分法適用関連会社では、製錬部門のMINERA PLATA REAL, S. DE R. L. DE C. V. はメキシコのロス・ガトス鉱山が2020年4月中旬から同年5月末まで一時的に操業を停止した影響を受け、主要セグメントに含まれない藤田観光(株)は宿泊者等が減少した影響を受けました。

主要セグメントの経営成績は次のとおりです。なお、表中の「前第2四半期連結累計期間」は2019年4月1日から2019年9月30日まで、「当第2四半期連結累計期間」は2020年4月1日から2020年9月30日までです。

## 環境・リサイクル部門

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間	増減	増減率
売上高	53,517	56,580	3,062	5.7%
営業利益	3,453	3,697	243	7.1%
経常利益	3,192	3,437	244	7.7%

廃棄物処理事業では焼却の処理量が減少したものの処理単価が堅調でした。また、熔融・再資源化の処理量が増加しました。土壌浄化事業では受注が増加しました。リサイクル事業ではリサイクル原料の集荷量及び自動車リサイクルの処理量が前年同期並みとなり、家電リサイクルの処理量が増加しました。海外事業では売上高が減少しました。

これらの結果、当部門の売上高は前年同期比5.7%増の56,580百万円、営業利益は同7.1%増の3,697百万円、経常利益は同7.7%増の3,437百万円となりました。

## 製錬部門

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間	増減	増減率
売上高	107,808	124,025	16,217	15.0%
営業利益	3,409	7,718	4,309	126.4%
経常利益	4,682	8,618	3,936	84.1%

貴金属銅事業では銅の生産量が前年同期並みとなりました。PGM事業では使用済み自動車排ガス浄化触媒からの金属回収量が増加しました。亜鉛事業では製錬原料の購入条件が改善し、亜鉛のたな卸資産の簿価切下額による損失幅が縮小しました。これらに加え、製錬部門は、金、銀、PGM（白金族）等の貴金属価格が前年同期比で上昇した影響を受けました。一方、持分法適用関連会社では、新型コロナウイルス感染症対策によるロス・ガトス鉱山の一時的な操業停止やメキシコペソ安の影響等により、MINERA PLATA REAL, S. DE R. L. DE C. V. 及びMINERA TIZAPA, S. A. DE C. V. が減益となりました。

これらの結果、当部門の売上高は前年同期比15.0%増の124,025百万円、営業利益は同126.4%増の7,718百万円、経常利益は同84.1%増の8,618百万円となりました。

## 電子材料部門

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間	増減	増減率
売上高	43,785	62,359	18,573	42.4%
営業利益	661	980	319	48.3%
経常利益	1,226	1,636	409	33.3%

半導体事業ではLEDの販売が医療機器用途等で増加しました。電子材料事業では太陽光パネル向け銀粉の販売が増加しました。機能材料事業では磁性粉の販売が低調に推移しました。新規製品開発では導電性アトマイズ粉の商業生産を開始し、ナノ銀粉の特性向上と量産化に注力しました。

これらの結果、当部門の売上高は前年同期比42.4%増の62,359百万円、営業利益は同48.3%増の980百万円、経常利益は同33.3%増の1,636百万円となりました。

## 金属加工部門

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間	増減	増減率
売上高	41,501	31,078	△10,422	△25.1%
営業利益	2,455	595	△1,859	△75.7%
経常利益	2,514	695	△1,819	△72.3%

伸銅品事業では第1四半期連結会計期間において自動車向けの販売が大きく減少しましたが、当第2四半期連結会計期間において回復に転じました。また、第5世代移動通信システム（5G）向けの販売が堅調に推移しました。めっき事業では伸銅品事業と同様、自動車向けの販売が大きく減少したものの、回復に転じました。回路基板事業では鉄道向けや産業機械向けの販売が堅調に推移しました。

これらの結果、当部門の売上高は前年同期比25.1%減の31,078百万円、営業利益は同75.7%減の595百万円、経常利益は同72.3%減の695百万円となりました。

## 熱処理部門

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間	増減	増減率
売上高	14,024	9,706	△4,317	△30.8%
営業利益	601	△703	△1,305	－%
経常利益	559	△751	△1,310	－%

熱処理事業では世界的に自動車生産台数が減少した影響を受け、第1四半期連結会計期間において国内外の拠点における受託加工数量が大きく減少しましたが、当第2四半期連結会計期間において日本、中国、米国、インド等での受託加工数量が回復に転じました。工業炉事業では新規設備及び設備メンテナンスの受注が減少しました。

これらの結果、当部門の売上高は前年同期比30.8%減の9,706百万円、営業損益は同1,305百万円減の703百万円の損失、経常損益は同1,310百万円減の751百万円の損失となりました。

## その他部門

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間	増減	増減率
売上高	5,756	5,702	△53	△0.9%
営業利益	308	127	△180	△58.7%
経常利益	330	181	△149	△45.2%

その他部門では、売上高は前年同期比0.9%減の5,702百万円、営業利益は同58.7%減の127百万円、経常利益は同45.2%減の181百万円となりました。

(注)当該項目に記載の売上高には消費税等を含めていません。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して11,169百万円増加し523,664百万円となりました。流動資産で11,725百万円の増加、固定資産で556百万円の減少となります。

流動資産の増加は、たな卸資産の増加23,876百万円、現金及び預金の増加6,663百万円、受取手形及び売掛金の減少12,782百万円、及び流動資産のその他の減少6,206百万円等によるものです。固定資産の減少は、投資有価証券の減少4,796百万円、無形固定資産の減少477百万円、及び有形固定資産の増加6,307百万円等によるものです。

負債は、前連結会計年度末と比較して16,490百万円増加しました。これは、流動負債のその他の増加11,994百万円、コマーシャル・ペーパーの増加7,000百万円、短期借入金の増加6,654百万円、及び長期借入金の減少9,110百万円等によるものです。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益が1,616百万円となり、配当金の支払い等を行った結果、株主資本が3,845百万円減少しました。また、繰延ヘッジ損益の減少等により、その他の包括利益累計額が3,157百万円減少した結果、純資産合計では前連結会計年度末と比較し5,321百万円減少しました。この結果、自己資本比率は46.0%となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より7,251百万円増加し37,483百万円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は23,353百万円の収入（前年同期比1,458百万円収入増）となりました。税金等調整前四半期純利益が8,777百万円、売上債権の減少が12,368百万円、減価償却費が9,193百万円、仕入債務の増加が5,345百万円、持分法による投資損失が5,112百万円、及びたな卸資産の増加が23,614百万円となったこと等によるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は16,867百万円の支出（前年同期比4,929百万円支出減）となりました。主に有形固定資産の取得による支出15,712百万円、貸付けによる支出1,800百万円等によるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は436百万円の支出（前年同期比6,521百万円収入減）となりました。主に配当金の支払い5,551百万円と有利子負債の増加5,237百万円によるものです。

なお、有利子負債の増減につきまして、四半期連結貸借対照表と四半期連結キャッシュ・フロー計算書との差異は、為替換算差額の影響によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期連結会計期間以降の事業環境につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を受けていた自動車関連製品及びサービスの販売は回復基調が継続すると想定しています。また、情報通信関連製品や新エネルギー関連製品、環境・リサイクル関連サービスは足元の堅調な状況が継続すると想定しています。持分法適用関連会社につきましては、主に海外亜鉛鉱山の運営会社の業績向上を見込んでいます。相場につきましては、為替は105円/米ドル、金属価格は当第2四半期末と同等の水準を前提としています。

これらの結果、2021年3月期の通期業績予想につきましては、売上高、営業利益は前期実績を上回り、経常利益は前期と同水準の29,000百万円となる見通しです。詳細につきましては、本日公表の「業績予想および配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。



## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	31,730	38,394
受取手形及び売掛金	75,130	62,348
商品及び製品	29,416	32,026
仕掛品	5,679	6,821
原材料及び貯蔵品	80,207	100,331
その他	20,330	14,124
貸倒引当金	△352	△177
流動資産合計	242,143	253,869
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	132,996	135,102
減価償却累計額	△75,975	△77,762
建物及び構築物 (純額)	57,021	57,339
機械装置及び運搬具	261,306	265,262
減価償却累計額	△218,562	△221,839
機械装置及び運搬具 (純額)	42,744	43,423
土地	27,883	27,897
建設仮勘定	21,688	26,964
その他	18,829	19,355
減価償却累計額	△14,830	△15,335
その他 (純額)	3,999	4,020
有形固定資産合計	153,336	159,643
無形固定資産		
のれん	4,037	3,793
その他	3,464	3,231
無形固定資産合計	7,502	7,025
投資その他の資産		
投資有価証券	65,031	60,235
長期貸付金	33,628	32,862
繰延税金資産	6,883	7,084
その他	4,070	3,042
貸倒引当金	△100	△98
投資その他の資産合計	109,513	103,126
固定資産合計	270,352	269,795
資産合計	512,495	523,664



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	34,480	39,729
短期借入金	40,105	46,759
コマーシャル・ペーパー	24,000	31,000
未払法人税等	6,224	2,847
未払消費税等	3,425	1,712
引当金		
賞与引当金	3,945	4,075
役員賞与引当金	191	75
引当金計	4,136	4,150
その他	44,413	56,408
流動負債合計	156,786	182,607
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	49,981	40,870
繰延税金負債	2,158	2,063
引当金		
役員退職慰労引当金	730	709
その他の引当金	377	375
引当金計	1,107	1,085
退職給付に係る負債	18,548	18,892
その他	5,673	5,225
固定負債合計	97,467	88,137
負債合計	254,254	270,745
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	36,437	36,437
資本剰余金	25,928	25,928
利益剰余金	184,927	181,082
自己株式	△5,711	△5,711
株主資本合計	241,582	237,736
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,226	6,363
繰延ヘッジ損益	2,285	△653
為替換算調整勘定	△875	△2,350
退職給付に係る調整累計額	△172	△51
その他の包括利益累計額合計	6,464	3,307
非支配株主持分	10,194	11,874
純資産合計	258,241	252,919
負債純資産合計	512,495	523,664

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	230,782	252,479
売上原価	201,270	221,193
売上総利益	29,512	31,285
販売費及び一般管理費		
運賃諸掛	2,000	1,762
販売手数料	245	230
役員報酬	724	700
給料及び手当	3,046	3,833
福利厚生費	1,112	1,281
賞与引当金繰入額	834	1,091
退職給付費用	386	486
役員退職慰労引当金繰入額	90	87
賃借料	481	588
租税公課	691	780
旅費及び交通費	816	326
減価償却費	559	598
開発研究費	2,940	2,985
のれん償却額	243	237
その他	4,261	3,676
販売費及び一般管理費合計	18,433	18,666
営業利益	11,078	12,619
営業外収益		
受取利息	991	725
受取配当金	498	272
持分法による投資利益	5	—
受取手数料	324	674
受取ロイヤリティー	486	396
有償サンプル代収入	546	552
その他	431	755
営業外収益合計	3,284	3,376
営業外費用		
支払利息	679	496
為替差損	496	216
持分法による投資損失	—	5,112
環境対策費	317	431
その他	417	408
営業外費用合計	1,910	6,666
経常利益	12,453	9,328

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>特別利益</b>		
補助金収入	—	38
受取保険金	230	35
固定資産売却益	105	21
受取補償金	—	17
投資有価証券売却益	38	—
その他	32	0
特別利益合計	408	111
<b>特別損失</b>		
固定資産除却損	368	564
減損損失	3	25
その他	45	72
特別損失合計	417	662
税金等調整前四半期純利益	12,444	8,777
法人税等	3,996	5,306
四半期純利益	8,447	3,470
非支配株主に帰属する四半期純利益	523	1,854
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,924	1,616

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	8,447	3,470
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△929	1,450
繰延ヘッジ損益	2,614	△2,939
為替換算調整勘定	△475	△1,213
退職給付に係る調整額	90	111
持分法適用会社に対する持分相当額	△221	△593
その他の包括利益合計	1,078	△3,184
四半期包括利益	9,525	286
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,008	△1,540
非支配株主に係る四半期包括利益	517	1,826

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	12,444	8,777
減価償却費	9,055	9,193
減損損失	3	25
のれん償却額	243	237
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4	△169
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△382	4
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	444	364
受取利息及び受取配当金	△1,490	△998
支払利息	679	496
為替差損益 (△は益)	326	219
持分法による投資損益 (△は益)	△5	5,112
固定資産売却損益 (△は益)	△105	△21
固定資産除却損	368	564
投資有価証券売却損益 (△は益)	△38	—
売上債権の増減額 (△は増加)	8,309	12,368
たな卸資産の増減額 (△は増加)	3,935	△23,614
仕入債務の増減額 (△は減少)	△6,482	5,345
未払消費税等の増減額 (△は減少)	64	△1,712
その他	△5,286	14,554
小計	22,078	30,749
利息及び配当金の受取額	3,722	1,477
利息の支払額	△669	△591
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△3,237	△8,281
営業活動によるキャッシュ・フロー	21,895	23,353
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△14,985	△15,712
有形固定資産の売却による収入	450	295
無形固定資産の取得による支出	△317	△125
投資有価証券の取得による支出	△4	△3
投資有価証券の売却による収入	50	—
関係会社株式の取得による支出	△936	△88
補助金の受取額	111	114
貸付けによる支出	△7,875	△1,800
貸付金の回収による収入	1,929	384
その他	△219	68
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21,796	△16,867

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,695	2,057
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	△2,000	7,000
長期借入れによる収入	5,416	—
長期借入金の返済による支出	△4,332	△3,820
社債の発行による収入	9,953	—
リース債務の返済による支出	△94	△121
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△5,406	△5,405
非支配株主への配当金の支払額	△146	△146
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,085	△436
現金及び現金同等物に係る換算差額	124	△278
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	6,308	5,772
現金及び現金同等物の期首残高	19,002	30,232
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	383	1,479
現金及び現金同等物の四半期末残高	25,694	37,483

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社及び国内連結子会社の税金費用につきましては、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(追加情報)

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用)

当社及び国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号2020年3月31日)の第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号2018年2月16日)の44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいています。



(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	環境・リ サイクル	製錬	電子材料	金属加工	熱処理	計				
売上高										
外部顧客への売上高	32,726	99,188	42,614	41,468	14,023	230,020	762	230,782	—	230,782
セグメント間の 内部売上高又は振 替高	20,791	8,620	1,171	32	0	30,617	4,994	35,611	△35,611	—
計	53,517	107,808	43,785	41,501	14,024	260,637	5,756	266,394	△35,611	230,782
セグメント利益	3,192	4,682	1,226	2,514	559	12,175	330	12,506	△52	12,453

(注) 1 「その他」の区分は、不動産の賃貸業、プラント建設業、土木工事業、建設工事業、事務管理業務、技術開発支援業務等、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にグループ間取引を含んでいます。

2 セグメント利益の調整額△52百万円には、各報告セグメントに配分していない営業外損益110百万円(受取配当金、持分法投資損益及び支払利息等)、セグメント間未実現利益の調整額△142百万円等が含まれています。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っています。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	環境・リ サイクル	製錬	電子材料	金属加工	熱処理	計				
売上高										
外部顧客への売上高	32,184	118,135	60,572	31,061	9,596	251,550	928	252,479	—	252,479
セグメント間の 内部売上高又は振 替高	24,395	5,890	1,786	17	110	32,199	4,773	36,973	△36,973	—
計	56,580	124,025	62,359	31,078	9,706	283,750	5,702	289,453	△36,973	252,479
セグメント利益又 は損失(△)	3,437	8,618	1,636	695	△751	13,636	181	13,817	△4,488	9,328

(注) 1 「その他」の区分は、不動産の賃貸業、プラント建設業、土木工事業、建設工事業、事務管理業務、技術開発支援業務、営業事務業務、マーケティング業務等、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にグループ間取引を含んでいます。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△4,488百万円には、各報告セグメントに配分していない営業外損益△4,227百万円(受取配当金、持分法投資損益及び支払利息等)、セグメント間未実現利益の調整額△89百万円等が含まれています。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っています。

## 3. 補足情報

## (1) 生産量比較

区 分	2019年度上期	2020年度上期	増 減	2020年度下期計画
電気銅	31,701 t	31,068 t	△633 t	32,443 t
亜鉛	84,061 t	76,395 t	△7,666 t	93,490 t
電気鉛	4,713 t	5,242 t	529 t	6,238 t
電気金	3,105 kg	2,953 kg	△152 kg	3,743 kg
電気銀	164 t	135 t	△29 t	162 t

## (2) 販売単価比較

区 分	2019年度上期	2020年度上期	増 減
電気銅	660 千円/t	643 千円/t	△17 千円/t
亜鉛	318 千円/t	261 千円/t	△57 千円/t
電気鉛	237 千円/t	214 千円/t	△23 千円/t
電気金	4,826 円/g	6,146 円/g	1,320 円/g
電気銀	54,666 円/kg	65,151 円/kg	10,485 円/kg

## (3) 海外地金相場及び為替相場比較

区 分	2019年度上期	2020年度上期	増 減	2020年度下期計画
為替	108.6 円/\$	106.9 円/\$	△1.7 円/\$	105.0 円/\$
電気銅	5,956 \$/t	5,931 \$/t	△25 \$/t	6,500 \$/t
電気亜鉛	2,554 \$/t	2,150 \$/t	△404 \$/t	2,400 \$/t
電気鉛	1,958 \$/t	1,773 \$/t	△185 \$/t	1,800 \$/t
電気金	1,392 \$/toz	1,811 \$/toz	419 \$/toz	1,900 \$/toz
電気銀	1,595 ¢/toz	2,036 ¢/toz	441 ¢/toz	2,400 ¢/toz

## (4) (連結) 設備投資額及び減価償却費

区 分	2019年度上期	2020年度上期	2020年度予想
設備投資額	16,985 百万円	16,395 百万円	33,400 百万円
減価償却費	9,055 百万円	9,193 百万円	20,300 百万円

## (5) (連結) 従業員数

2019年9月末	2020年9月末
6,939 人	7,261 人

(注) 連結グループ外への出向社員及び臨時員を除いています。